

# 「えひめ食・観光・農林漁業プラットフォーム」 キックオフミーティング開催レポート(2025年7月4日開催)

愛媛県では、地域課題解決と経済活性化を目指し、多様な主体が連携・協働する「えひめ版政策エコシステム」の構築を進めています。その第一歩として立ち上がった「えひめ食・観光・農林漁業プラットフォーム」のキックオフミーティングを2025年7月4日(金)に開催しました。



## 1. キックオフミーティングの概要

- 日時: 2025年7月4日(金)13時30分~17時00分
- 場所: 県民文化会館「真珠の間」
- 一般参加者数: 113名

## 2. 「えひめ版政策エコシステム」とは

県、市町村、民間企業、市民団体、学術機関など多様な主体が企画段階から連携・協働することで、持続的に新たな価値を創造し、戦略的な政策立案・推進につなげる仕組みです。以下の2層構造で構成されています。

- 第1層「プラットフォーム」: 多様な関係者が集い、情報共有や学び、マッチングを通じて、「広く議論する共創の場」。
- 第2層「アクションラボ」: 第1層の議論から得られたアイデアや課題をもとに、特定のテーマに絞ってビジネスや政策の創出を目指す「具体的な議論を深める場」。

## 3. キックオフミーティングの目的

参加者間で目的を共有し、自分たちが社会課題解決に「貢献する」というマインドセットを醸成することを目指しました。また、愛媛の食・観光・農林漁業をキーワードに、今後のアクションラボ立ち上げに向けた論点抽出も行いました。

## 4. 当日のプログラム

- 第1部: ワールドカフェ方式によるワークショップ
  - 目的: 肩書きを外し、リラックスした雰囲気の中で、相互理解と新たな気づきを得る。
  - 対話テーマ: 「食・観光・農林漁業で、愛媛県を元気にするためにやってみたいこと」

○ 参加者の声(アンケート結果より)

「異業種の方と対話でき、よかった」「活発な意見交換ができた」「ざっくばらんな意見交換を通じて自分にはない考えをいろいろと得ることができた」といった前向きな意見が多く寄せられました。



● 第2部:マンダラチャート作成のワークショップ

※「マンダラチャート」は一般社団法人マンダラチャート協会の登録商標です。

- 目的: 参加者の知見やスキルを活かし、アイデアを可視化・共有する。
- 設定されたテーマ:事前アンケートや第1部の議論をもとに、以下の6つのテーマを設定。

- ① 「あらゆる体験を観光資源に磨き上げる」
- ② 「風景(景観+人の営み)を商品化する」
- ③ 「お酒をキーワードに可能性を拡げる」
- ④ 「柑橘をキーワードに可能性を拡げる」
- ⑤ 「ガストロノミー(美食)を商品化する」
- ⑥ 「外国人のおもてなしを磨き上げる」



参加者が興味のあるテーマのテーブルにスムーズに着席できるよう、県庁職員がテーマ名の書かれたプラカードを掲げて誘導しました。

## ○ テーマごとの主なアイデア(抜粋)

### ① 「あらゆる体験を観光資源に磨き上げる」

- ・ 地域固有の歴史や文化(遍路、一遍上人、古民家、砥部焼など)を軸にした体験や、農業・漁業・林業などの一次産業を活かした体験、郷土料理を中心とした食の魅力、サイクリングやカヌーなどのアクティビティ、農泊を通じた地域の暮らし体験など、愛媛ならではの地域資源を活かした多様なアイデアがありました。
- ・ 特に「自ら体験すること」や「地域の人と触れ合えること」に価値を感じる声が多く、地域の暮らしや文化に触れられる機会づくりに対する意見が出ました。

### ② 「風景(景観+人の営み)を商品化する」

- ・ 海や島、山、棚田、夕日といった自然景観に加え、人々の暮らしや伝統文化そのものを観光資源として捉える視点が共有されました。
- ・ 絶景の中でのアクティビティ(トレイルランニングやキャンプなど)や古民家・お城などの建築物活用、SNS 発信やストーリー性のある魅せ方への提案も多数ありました。
- ・ また、地域住民との交流や持続可能な観光運営の視点も重視されました。

### ③ 「お酒をキーワードに可能性を拓げる」

- ・ 日本酒・クラフトサケ・ビール・ワインなど、愛媛ならではの酒類と食材とのペアリングを活かした商品やツーリズムの可能性が議論されました。
- ・ 酒蔵見学や酒器(砥部焼、媛ひのきの榼)との組み合わせ、ナイトタイムエコノミー、県外・海外への発信手法など、さまざまな切り口で展開可能性が語られました。

### ④ 「柑橘をキーワードに可能性を拓げる」

- ・ 愛媛の強みである柑橘をさらに広く・深く活用するための多様なアイデアが出ました。
- ・ 大規模イベントやテーマパーク構想、AI を活用したスマート農業や収益性向上の工夫、異業種連携や教育との掛け合わせ、持続可能性に配慮したブランドづくりなど、未来を見据えた構想が印象的でした。

### ⑤ 「ガストロノミー(美食)を商品化する」

- ・ 愛媛の高品質な柑橘や水産物、ジビエ、加工品などの食材を使った新しい食体験の創出、地元の食文化や器(砥部焼など)といった要素を活かしたストーリーテリング、郷土料理や調理体験、食と観光の融合など、魅力の高い提案が次々に出されました。
- ・ 高級志向とカジュアル志向の両立や、情報発信の工夫も多数提案されました。

### ⑥ 「外国人のおもてなしを磨き上げる」

- ・ インフラ整備(交通、キャッシュレス対応、多言語化など)から、文化体験、地域住民との交流まで、多様な視点からの提案がありました。
- ・ 特に「心のこもったおもてなし」や「交流による理解の深まり」といったソフト面への関心も高く、地域全体で外国人を受け入れる体制づくりの重要性が共有されました。



## 5. 参加者アンケート結果

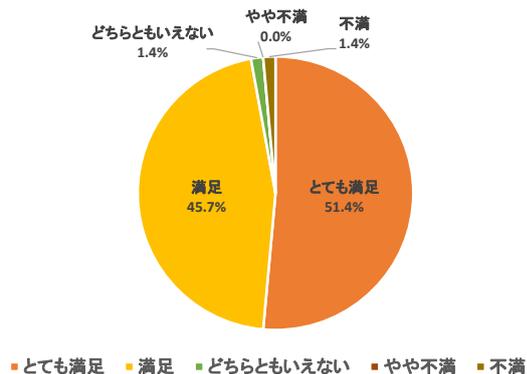
### <キックオフミーティングの感想>

- ・「とても満足」が 51.4%、「満足」は 45.7%と、9 割以上の方が満足と回答しています。

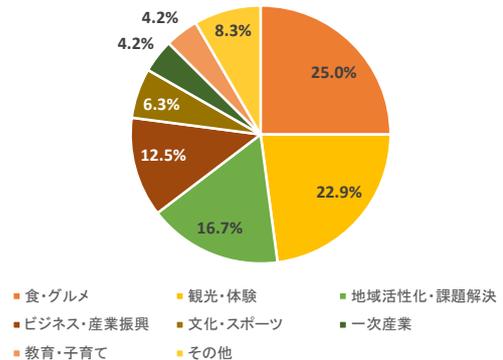
### <今後プラットフォームやアクションラボで取り組みたいテーマ>

- ・「食・グルメ」(25.0%)、「観光・体験」(22.9%)が多く、地域資源を活かした体験や食への関心が高いことがわかりました。

■キックミーティングの感想



■取り組みたいテーマ



## 6. 今後の展望

食・観光・農林漁業をテーマにワークショップ等の開催を予定しています。プラットフォームで得られたアイデアをもとに、「アクションラボ」での具体化を進めます。

### ● 第 1 回ワークショップ

8 月 27 日(水)13 時 30 分～17 時 00 分に愛媛県視聴覚福祉センターにて開催予定。

日本酒と食のジャーナリスト山本洋子氏を講師に迎え、「(仮)「物語」で未来を醸すーお酒から学ぶ、愛媛の食・体験・風景の繋ぎ方ー」をテーマに行います。

### ● 継続的な活動

今後、10 月、12 月、2 月頃にもワークショップを開催する予定です。

その他、参加者間の自発的な勉強会開催を促進し、月 2 回程度の情報発信を行うなど、プラットフォームの活性化を支援してまいります。

本プラットフォームは、参加者一人ひとりが主体的に協働し、新たなビジネスや地域活動、政策の創出へとつなげていくことを目指しています。今後の展開にもぜひご期待ください。